

波紋

平成14年

4

APL No.202

EDITOR: 妹尾峰男

PUBLISHER: 森松株式会社

=裸祭りの男たち=

厄年を迎え、国府宮はだか祭りに参加してきました。



はだか祭りとは…

◆「国府宮(こうのみや)はだか祭」は愛知県稲沢市の尾張大國霊(おわり おおくにたま)神社で行われる「儼追神事(なおいしんじ)」で、その起源は1200年の昔にさかのぼります。

◆毎年旧正月13日に、厄年を迎えた禪(ふんどし)姿の男たちが、儼負人に触れば厄落としができるという信仰のもと、肉弾相打つ壮絶な揉み合いを繰り広げていきます。

◆奈良時代にはじまるというこの厄払いの裸祭は、選ばれた1人の儼負人(なおいにん)=神男(しんおとこ)を巡って、8000人以上の、禪姿の裸男達による壮絶な揉み合いを繰り広げるものです。これは、神男に触れば厄落としができるとの信仰からです。神男は3日3晩儼追殿(なおいでん)にこもり、祭の本番にそなえます。また、当日は早朝から厄除けの御祈禱を受ける人と、お守りの「なおいぎれ」等を受ける人で雑踏し、午後には裸男の集団が、裸になれない老若男女が厄除けの祈願を込めた布を結び付けた「なおい筐」を擽げて威勢よく拝殿へ駆けこんでいく姿がみられます。旧暦正月13日午後3時、本殿で神事斎行し、神男は、群がる裸男の中へ入り、クライマックスを迎えます。前日の旧正月12日には神供として、50俵どり(4トン)もある大鏡餅が神男に迎えられ、拝殿に納められます。(引用)



私も、ワッショイ、ワッショイと「なおい筐」をかつき拝殿へ奉納。参拝を終え一段落。(この時すでにボロボロの状

態)次に桶部隊から、水を溺れるくらいかけまくられる。(これはたまらん!)全身がびしょ濡れ。そして祭りは神男の登場にクライマックス!私は身の危険を感じ遠目で見守る(情けない?)(昨年、加藤さんはこの肉弾戦に参加したらしい。あんたはエライ!)次ぎの瞬間、恐怖が過ぎる。周りには同メンバーがいない。(帰れない!お金も携帯電話もない。寒い!)参道をさまよっていると「安井さん」と女神の声!大和田さんに助けられました。震える体にジャンパーをかけてもらい、途中、暖かい缶コーヒーを頂く。(神社近くの自販機はぬるいからと…この気配りに感謝!あの時の味は忘れられない)そして村田さん宅へ無事到着。



はだか祭りの初体験!良い経験になりました。来年?もちろん参加します。後厄までは!この機会を作って頂いた村田さんはじめ、ご家族の方々。森松の同メンバーの方々、あらためましてお礼申し上げます。追伸:今回の同メンバーはクライマックスが始まる前に帰宅したそうです。

安井 浩二(プロジェクト⑩)

※今回初参加の伊東さん・岩間さんの体験談は、巻末に記載してあります。



皆さん気が付けば仕方ないかな。授業料と思えば仕方ないかな。皆さん気が付きましょう。

森 信之

「お金の運用がへたな日本人」
学校義務教育には4つのタブーがある。社会に出て大切な事なのに教えてくれない4つの事それは、政治、宗教、セックス、マナーです。これらのテーマは教育の場にふさわしくないという理由で教えてもらえない。社会生活で最も大切な事なのに。これらの基本的な事を教えられないまま日本人は育っていくのです。

お金の大切さを教えたのは「一万円札」の福沢諭吉である、人間に一番大切な事の一つに「独立自尊」がある、どんな圧迫にも信念をまげない事が重要だ、その為にはお金は必要で、お金をタブー視するのは間違いである、と教えている。

それなのに家庭でも学校義務教育でも「お金」をタブー視して教えない。身近でうまい話や詐欺商法にコロリと騙される人が後を断たないのは、家庭や学校でお金の教育をしなかったからです。ペイオフが始まった。騙される人が増えるだろうなあ。授業料と思えば仕方ないかな。

『森松USA社内報』

コーヒーを頼む時の話。缶コーヒーの無い(あつても甘すぎる)こちらはコンビニでコーヒーを買いますが、必ずデカフ(カフェイン抜きコーヒー)があり、「スターバックスコーヒー」は3種類の牛乳を購入後足すことができます。(日本も同じく)「普通の牛乳」「スキムミルク」「ハーフアンドハーフ」(牛乳&クリーム)。また牛乳を使用するカフェラテ等は、脂肪が気になる方はスキムミルクを使って作ってくれと注文します。サンドイッチになるとどの種類のパンを使うか、マヨネーズは入れるのかマスタードは、タマネギは、ピクルスは、どのチーズを入れるのか。：。多国籍な人々の集合体のアメリカでは、宗教上での食事制約がある人もいます、そのため航空会社に事前に連絡するとそれぞれの宗教向け、菜食主義者向けのメニュー等、10数種類のメニューから機内食を選択できるそうです。(自分の料理だけ他の人より先に運ばれてくるので得した気分です)また、テレビにしてもケーブルテレビは自分の見る局(オプション)を選択し、それで毎月の料金が決まります。

選択の幅があるということは人それぞれが違うという意識の元、ごく当然でしょう。食料品にしてもこれからは遺伝子組み換え食品という便利なものが出てきて、そのせいか私の買ったタマネギはまったく芽が出ていません。昔一人暮らしをしていたときは2ヶ月もタマネギがもった覚えは無いのですが。有機栽培専門食品店も街中でよく見かけます。長期的な影響がまだ明らかになっていないため、自己責任で良い食品を選ぶということを最近意識するようになりました。

日本にあつても安いものを買おうと思えば量販店に行きますし、高くても後のサービス等を考えると別の選択があると思います。特にこちらは医療費が日本と比較して高く、例えばオノメ治療でも数万円の請求となることがありますので、日本以上に健康に気を使います。幸い未だ医者にかかっていないですが、自分の為にあえてコストを掛けるというのは結果的にプラスと成るでしょう。日本ではラベルの表示から疑う必要があるようですが?



社長 森 直樹

『最悪な花粉症』

桜の季節になって参りましたが、この波紋が発行される頃は満開の季節でしょう年間通して一番さわやかな季節であるべきものが、私にとっては一番悪悪な季節になってしまっています。田舎育ちの私にとって考えられない病気です。子供の頃は杉の木の下でよく遊んだ日々がうらやましい限りです。

この原稿を書いている最中にも鼻水が落ちて最悪状態です。花粉症になって4年目になります。ある日突然、目のかゆみ、くしゃみ、鼻水、3拍子そろった最悪な状況。眼科、耳鼻科にも何回か通いましたが、思うように治らないし、時が解決してくれるのを待つしかない、そのとき金子社長より良い病院があるからと紹介頂き、薬をも掴む思いで奈良県まで会社の花粉症仲間と4名、5名でツアーを組み行っていました。

朝8時現地到着し病院へ行ってみると、噂通り9時より診察なのにすでに10名、20名の患者さんが待つてみえました。遠い患者さんは四国や静岡からの方もみえます。病院はごく普通の町病院、古い建物、待合室も狭く廊下までもが待合になっていて、この時期だけで1年分の稼ぎができるのではなからうかと思えるぐらい流行っています。9時に始まろうと、30分程待ちますと順番がきて、問診があり、注射、次から次へと効率良く診察を終えていく、ほとんどの患者が花粉症の方ばかりで効率が良いですね。注射を終えて2日間絶対にお酒は飲んで駄目、注射は1年に1回だけという注意事項を頂き、帰る頃は、既にマスクも取れて体全体が熱くなったような気分、鼻水も止まって憂鬱な思いが嘘のように治つてしまいました。

その後3年間、この時期になると通いました、今年は何とか自力で直すつもりですが、簡単にはいきません、苦しんでいます。色々新聞、テレビ等々で花粉症に対する治療方法を教えていますが、長期的な治療方法、自己管理が必要に思えます。ホコリやリフトの排気ガスを少なく出来る工場、倉庫にしています。花粉症になっていない方、気を付けて下さい。



横山 敏秋(ユニティ)

『基本は大切』

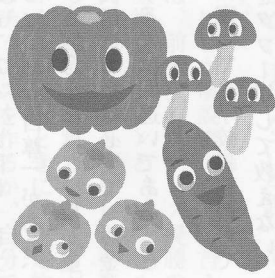
稲沢に引越して1年、その間に少しずつではあるが畑を作り始めた。ただ、もともと畑ではない所だし家を建てる際の碎石がかなり混じってしまったのでそのまますりただけでは作物が出来ない(特に土の中に出てくるもの)だから土をふるいにかけてある程度石を取り除いて畝を作り肥料を入れてようやくそこから種をまいているのだが1年で出来たのはたった4畝。とても畑とは言えないのだが、それでもブロッコリーやピタミソ菜、玉葱に葱を作っています、そして今度は子供達が喜んで収穫出来るさつま芋を作る予定だ。

ただど実際やってみると畑仕事は実に奥が深い。自分の親も畑をやっているのだからなんとなくわかってはいるつもりでいたのだが、初めは鍬の使い方が良くわからず余分な力が入ってしまったが最近では少しは上達したと思う。

畑仕事も基本がわかっていないとなかなか旨く行かないことがわかり、ふと仕事と一緒にだんだん思った。何事も基本となるものがしっかりとっていないと上手くいかないものだ。私自身仕事も畑もまだまだ半人前だけれど、いつかは達人になれるよう頑張りたいと思います。



長崎 修(レインボー)



読後感

「ナマケモノはどこへ行く？」

アウグスト本田・著

幸福を求めて挑戦をする大切さを小動物ナマケモノの世界を通して表現した寓話。

一族の長クラテス（ギリシャの哲学者・ソクラテスから取った名？）の遺言を妻・チツペが仲間のナマケモノに伝える。

- <第一の問いかけ>
おまえは今、幸せと言えるだろうか
- <第二の問いかけ>
どうすれば、今より満足するだろうか
- <第三の問いかけ>
おまえは新しい事に挑戦出来るだろうか
- <第四の問いかけ>
その情熱を明日も持ち続ける事が出来るだろうか
- <第五の問いかけ>
おまえは何を支えにして生きるのか

この問いに皆其々色々自問自答しながら、若者アクト（英語のACT／行動する？）は「天敵のワシに食われない為に、空を飛び、自由を手に入れる」、ポエット（英語のPOETRY／詩？）は「自分に正直に生きてみよう、所詮短い命じゃないか。めげずにじっくりと考えよう、何がかなえば本望なのか」「変わる自由もあれば、変わらない自由もある」と歌いコーラス隊をつくる。伝統を重んじ批評家のドクサは「ありのまま、自然に生きる」フィリアは「他にやるべき事が有っても、やってみたい事から始めれば良い」etc.

挑戦する事に依って周りと摩擦がおき悩んだり、目標とは違った成果に満足したり、新たな挑戦を求めて行く者達。「生きるスタイルは千差万別、それぞれに有ってよい。大切なのは自分の頭で考える事。そして自分の意志で選択する事。その勇気を自覚的に持つという事。」とあとがきに有るが、私の座右の銘「誰が選んでくれたのでも無い。自分で選んで歩き始めた道ですもの。間違いと知ったら、間違いでない道にしなくちゃ。」



（森本 薫「女の一生」）とまったく同意でうんうんと著者に一人言っていた。短編で読み易く、示唆に富んだ一編であった。

上田 邦男（レインボー）

「プロジェクトXリーダーたちの言葉」

NHKプロジェクトX制作班 今井彰

この本では、テレビ番組「プロジェクトX」に登場した18人の現場リーダーたちのことが書かれています。

この本を読んで感じた事は、18人の現場リーダーたちが非常に困難な状況でプロジェクトをスタートさせ、想像を遥かに超えた戦いに身を置き、部下の人生や会社の運命、すべての責任を背負いプロジェクトを成功させることが強く心に残りました。

その中でも、印象に残っているのは南極越冬隊長、西堀榮三郎氏の話です。この話のなかで南極越冬隊は、観測よりも生き残るのが精一杯という南極の厳しい状況の中で、また風速50メートルのブリザードで観測用の機材が飛ばされてしまっても西堀氏一人は諦めず、煙草の空き缶でお手製の観測機材を作り、他の隊員たちに「そんなもので科学の観測ができるのか」と訪ねられたときにも「やる前から駄目だと諦める奴は、一番つまらん人間だ。自分を蔑むな。落ちこぼれほど強いんだ。まずやってみなはれ。」と言った。この時より、隊員たちの顔つきが変わり各テーマを見つめ観測は日に日に充実し、世界を驚かせる観測記録を発表することになった。また西堀氏の言葉で、私が心に強く残ったのは、「人にとって最も恐ろしいのは、惰性で日を送ることである。向上心があれば、飽きる事がない。仕事・生活の中に、向上の道を残さねばならない。向上を求めなければならない。」

今以上の向上心を持ち、仕事・生活で自分を磨いていきたいと感じました。

稲葉 善貴（プロジェクト㊸）



『マラソン』

3月10日に楽しみにしていた名古屋女子国際マラソンが開かれた。1週間前の休みには、名城公園に行き参加選手が練習をしているのを見に行きました。テレビでよく見る選手が走っている近くで見られるなんてこんな時しかないなと思います、私も一緒に自転車で公園内のコースを2週ぐらい走る：付いて行けず一休み…。

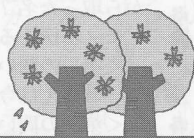
開催日、昼からテレビ観戦とコースにでて応援、兄と誰が優勝するかテレビを見ながら言い合い、自分は大南選手が優勝すると言った。スタートから25km。兄が早くも平六通りへ見に行くので家を出る。私も後から追いかけて通りへ出ると、早くも人でいっぱい。テレビ中継の1号車が来る先頭は誰だろう？と見ると大南ではない。15mぐらい後3番目「大南頑張れ」と大声を出す。10分間ぐらい後続の選手たちを応援して家に戻り、テレビを見ると段々離れていく。優勝はもう無理。あきらめ見ていると、2番目の選手に追いつき始める、よし3番より2番だ！頑張れと画面にくぎ付け、徐々に追いつき追い越し2番でゴール。充分に感動を味わうことができました。また、女子マラソン中継がありました。出たときに応援するんですよ。がんばってな…。



坪井 芳治（レインボー）

2002年

4月の予定



29日(月)	27日(土)	26日(金)	25日(木)	24日(水)	18日(木)	15日(月)	14日(日)	13日(土)	12日(金)	11日(木)	4日(木)	2日(火)	1日(月)
みどりの日	下田さん誕生日	第四土曜休み	生産会議 18時00分～	編集会議 18時00分～	15時00分～16時00分 営業会議	7時30分～8時30分 経営会議	ホテル・ニューオータニ	日本ビニール商業連合会	井上さん誕生日	森ちかさん誕生日	伊東さん誕生日	第二土曜休み	土田さん誕生日
									中京21クラブ・銀行協会 14時30分～18時00分	時局講演会・名観光ホテル 11時00分～12時00分	森下さん誕生日	小島和尚さんを囲む会 17時30分～20時30分	誕生日会4F

裸祭りの男たち

自分ではまだまだ若いつもりでいましたが 前厄を迎える年齢になりました。村田さんの目から見て、「伊東は厄払いをしておいた方がいい…」と感じたからなのか、「近年まれにない日曜日が裸祭りなので参加しないか…？」と声を掛けてもらいました。

子供達にも自分の目で見て経験する事が一番だと思家家族で参加させてもらいました。妻の実家(南区)の祭りも派手で、揃いの竜の刺繍入りハッピーを着て「御輿」を担がせてもらっていますので雰囲気にはすぐに溶け込めました。人が多い・フンドシ1枚の姿・寒い…有名な祭りの雰囲気を十二分に肌で感じとる事が出来ました。通り掛りの人・見物人・参加者からは、「がんばって！」と 声を掛けてもらい暖かさをも感じました。参加者は一致団結で皆が仲間になってしまいます。義弥9歳は、背中・おしり・腕にマジックで光田さんに落書きをされて喜んでいましたが途中からは「帰りたい・帰ろう…」の連発!あまりにも根性がなくショックでしたが、右腕に「森松命」と書いてあり親として複雑な心境でした。

村田さんに誘われなくても 本厄・後厄と参加させてもらおうと思っております。村田家の家族の皆さん、特に奥様には食事・風呂・祭りの部材の調達までお世話をお掛けしました。本当に有難う御座いました。来年も宜しく願います。

伊東 郁二 (プロジェクト㊄)

村田さんからの誘いもあり、国府宮神社の裸祭りを一度見学してみようかな?と欲していたところ、村田さんから裸男として参加するように言われ、後厄も今年の節分にて終わっているし、寒いのが苦手なため拒んでいたのですが何ともならず参加することになってしまいました。

村田家にて村田、村田(弟)、光田、伊東+息子、安井、岩間の7名がフンドシ姿になり、いざ出陣!近くの神社にてなおい布を難追笹に縛り付け、それを裸男達が担ぎ国府宮神社へ奉納に向かいます。例年より暖かいと言われましたが木陰に入り風が吹くとやっぱり寒く、裸男同士で肌を擦りあいながら、しのいでいましたが、盛り上がるにつれ寒さも忘れ、無事難追笹を国府宮神社へ奉納することが出来ました。その後桶部隊に散々水を浴びせられ裸男が出る前に早々と退散し村田家へ戻り、暖かい風呂へ入りながらバラバラになった仲間の帰りを待ちました。一番先に帰った光田さんは途中で迷子になったり、国府宮神社内ではぐれた安井さんは大和田さんに発見され無事救出されたり笑い話を作ってくれました。でも、全員無事に戻れてよかったですネ!

いろいろな準備やお世話をしていただき、貴重な体験をさせていただいた村田家の家族の人には本当に感謝しています。ありがとうございます。

岩間 正美 (ドリーム7)

編集後記

ワールドカップサッカーまで、あとわずかになりました。普段はJリーグもそれほど観戦する訳でもありませんが、4年に1度の世界も大注目この大会。しかも、ホスト国となれば、これからもっと高まっていく雰囲気を十分楽しまない手はないと思つてます。

にわか解説者になって言えば、前大会のフランス優勝の立役者、ジダンと、ブラジル代表のリバウドのプレーを楽しみにしてます。どちらも、ボールが来たときに、決定的なチャンスを作るか、自分で点を取ってしまうか、見ていて際立っていると思つてます。上手いプレーヤーほど、足元には向かず、常に顔を上げて状況判断に神経を使っています。自分も仕事の上で、もっと全体的に気を配り、思いやりのあるパスや時には豪快にシュートを決めていくよう、二人のプレーヤーから学ばないと思つてます。



妹尾 峰男 (ドリーム7)